

ふるさと納税

企業版ふるさと納税として寄附をいただきました

次の企業の皆様から寄附をいただきましたので、贈呈式の様子とともに紹介します。

本市では「太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略（まちづくりビジョン）」に基づく4つの戦略を進めるため、企業版ふるさと納税を募集しています。寄附金は本市の更なる発展のため大切に活用します。

使途：令和の都だざいふ「梅」プロジェクト

使途：令和の都羽ばたく太宰府！推進プロジェクト



株式会社三浦工務店



三井住友ファイナンス&リース株式会社



筑紫ガス株式会社



日之出水道機器株式会社

まちのトピックス

市内企業の活躍

東洋ステンレス研磨工業(株)が知財功労賞を受賞

本市で金属に研磨加工（化粧）を施す東洋ステンレス研磨工業株式会社が、令和6年度知財功労賞経済産業大臣表彰を受賞したことを5月1日(水)に楠田市長に報告しました。

門谷豊代表取締役社長は「創業以来、金属素材に意匠性と機能性を与えることで社会に貢献することを使命に取り組んできました。栄誉ある受賞を励みに、一層精進し金属の新たな魅力を発信したい」と話しました。

今後も同社のますますのご発展を祈念いたします。



受賞を報告した門谷さん(左)

世界に羽ばたく人材育成

第71回太宰府柔道剣道大会開催

4月28日(日)に柔道大会、29日(月・祝)に剣道大会が、太宰府市総合体育館（とびうめアリーナ）で開催されました。本年で71回を迎える市主催の歴史ある大会で、武道を通じた青少年の健全育成を目的にしています。



大会当日の様子



市内の優勝チーム・優勝者（敬称略）

柔道大会

区分	種目	氏名
団体戦	団体戦A小学4年～6年	太宰府少年武道会
団体戦	団体戦B小学1年～3年	太宰府少年武道会A
個人	小学3年生(男女混合)	吉村 駿
個人	小学6年生(男子の部)	小浦 慶大
個人	小学5・6年生(女子の部)	吉村 華音
個人	中学2年生(男子の部)	吉村 訊
個人	中学生女子の部	伊藤 愛莉

剣道大会

区分	種目	氏名
団体戦	小学生低学年の部	太宰府振武会A
個人	小学1・2年生	石橋 鼓太
個人	中学生女子の部	内海 陽愛

令和の都だざいふ

大宰府万葉会が「令和萬葉館」をオープン

大宰府万葉会が令和改元の日である5月1日(水)にあわせて、「令和萬葉館」（五条2丁目）をオープンしました。令和萬葉館では、同会発足から27年のこれまでの歩みや万葉集に関する資料、万葉衣装などを常設展示しています。

同会は、万葉故地として名高い筑紫に住むことを誇りとして、月1回の万葉集講座や、市内の万葉集歌碑を解説しながら巡る万葉歌碑めぐり、2月初旬に開催する梅花の宴の再現などと地域に密着した活動をしながら、全国の万葉故地との交流を深め、万葉文化の普及啓発を行っています。



記念にテープカットをする様子

私のだざいふ

太宰府キャンパスネットワーク会議

令和6年度学生連絡会委員

福岡こども短期大学 こども教育学科 2年



いのき まな
居軒 舞奈さん

私は、進学を機に宮崎県から太宰府市に住むことになりました。しかし、その前に一度太宰府市を訪れたことがあります。中学3年の合格祈願での家族旅行です。その後、念願の高校へも合格し、福岡こども短期大学への入学も叶い、もう一度太宰府市を訪れることができました。

短大に入学してからは、学生連絡会委員となり、太宰府市について多くのことを知りました。特に、太宰府市のお祭りにボランティアとして参加した際には、人の温かさや明るさを感じました。たくさんの方の笑顔が溢れている場所であることを実感しました。

「太宰府市長と学生の意見交換会」では、太宰府市について真剣に意見を出しあい、市長さんは、学生の意見にもしっかりと耳を傾けてくださいました。この街には、太宰府市をより良くしたいと思う方たちがたくさんいることを実感しました。

学生生活も残り一年となりましたが、ボランティアなどを通して太宰府市に少しでも貢献していきたいと思っています。

市政ニュース

令和の都だざいふ「梅」プロジェクト



「梅の実収穫祭」を行いました

大宰府政庁跡で「梅」プロジェクトの始まりとなる梅の実収穫祭を5月15日(水)、福岡農業高等学校や連携企業の皆さんと行いました。本年は全国的に見ても梅の実の収穫量は多くありませんでしたが、真夏のような暑さの中、参加者はブルーシートや竹竿を使って取り残しがないように収穫しました。

同校の梅研究班は、平成21年から授業の一環として、太宰府市産の梅を使用した製品開発をしています。

これまでにサイダーやポテトチップス、チョコレート、せんべい、漬けダレなど多くの製品が生まれました。今後も定番製品に加え、令和の都だざいふの新たな地場みやげとなる新製品開発を続ける「梅」プロジェクトに引き続き注目してください。



梅の実を収穫する参加者たち



収穫した梅の実

Contents

目次

2024年7月号

特集

【表紙関連】

手と手をつないで…………… 4
7月は同和問題啓発強調月間…………… 5～7

令和6年6月

市議会市長提案理由説明…………… 8～9

市からのお知らせ … 10～13

連載…………… 14～24

なんでも情報コーナー…………… 25～31

太宰府の文化財…………… 32